

CVR100W VPNルータでトリガーされるポート範囲

目的

ポート転送は、インターネット経由で送信されたパケットをWAN上の1つのポートからLAN上の別のポートにリダイレクトするために使用されます。この機能は、パケットが目的の宛先へのクリアパスを持つときに便利です。ポート範囲トリガーは、ダイナミックポート転送と見なされます。CVR100Wに接続されたホストが、ポート範囲トリガールールで設定されたトリガーポートを開くと、CVR100Wは設定されたポートをホストに転送します。トリガーされたポートがホストによって閉じられると、CVR100Wは転送されたポートを閉じます。ポートトリガーは、ポートがトリガーされたときにポートのみを開きます。これにより、単一ポート転送およびポート範囲転送に比べて安全性が高まります。トリガールールではIPアドレスは必要ありません。CVR100Wに接続されたコンピュータはルールを利用できますが、ルールは一度に1台のコンピュータでのみ使用できます。

この記事では、CVR100W VPNルータでトリガーされるポート範囲を設定する方法について説明します。

単一ポート転送を設定するには、『[CVR100W VPNルータでの単一ポート転送](#)』を参照してください。ポート範囲の転送を設定するには、『[CVR100W VPNルータのポート範囲の転送](#)』を参照してください。

該当するデバイス

- ・ CVR100W VPNルータ

[Software Version]

- ・1.0.1.19

ポート範囲トリガー設定

ステップ1: Web構成ユーティリティにログインし、[Firewall] > [Port Range Triggering]を選択します。「ポート範囲トリガ」ページが開きます。

